

相模原市立新磯ふれあいセンター及び相模原市立相模の大風センター

指定管理者選考委員会の議事概要及び選考の概要

<選考委員会の議事概要>

1 日時

令和5年10月5日(木) 午後4時00分～7時00分

2 会場

相模原市民会館 2階 講習室

3 出席者

- (1) 指定管理者選考委員会委員 4名
- (2) 事務局（健康福祉局地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課及び南区役所地域振興課）
6名

4 選考委員会の委員の構成（うち1名は欠席）

- (1) 公認会計士（委員長） 1名
- (2) 新磯地区自治会連合会の代表者 1名
- (3) 新磯地区老人クラブ連合会の代表者 1名
- (4) 相模の大風文化保存会の代表者 1名
- (5) 市職員 1名

5 公開の可否

相模原市立新磯ふれあいセンター及び相模原市立相模の大風センター指定管理者選考委員会設置要綱第9条により非公開とした。

6 議題

- (1) 提案説明会
- (2) 書類審査結果報告
- (3) 経営状況審査報告
- (4) 意見交換
- (5) 採点
- (6) 集計結果報告

8 議事概要

- (1) 提案説明会
申請団体からの提案説明を受け、それに対して選考委員会委員が質疑応答を行った。
ア ギオン・アクティオグループ

(主な質疑応答)

委員：自主事業での収入を多く見込んでいない理由は何か。

申請団体：自主事業収入の中心は自動販売機収入としている。まずは施設に足を運んで欲しいという思いから、教室などの事業参加料は低廉にしており、参加料収入を低く見積もっている。

委員：代表団体と構成団体の役割分担はどのようになっているか。

申請団体：代表団体は施設の収支管理や市との窓口、センター長の配置等の全体管理を行う。構成団体は施設運営の実務や事業の実施を担う。

イ 公益財団法人相模原市まち・みどり公社

(主な質疑応答)

委員：管理運営に対する基本方針として「新磯地区の魅力発信」とあるが、具体的にどのようなことを検討しているか。

申請団体：大凧まつりを中心に、公民館やこどもセンター、保育園等と一緒に自主事業の開催などを通じて地域を盛り上げていきたい。

委員：障害者就労施設の活用についての提案があるが、これまでの実績と今後の見込みは。

申請団体：当社管理施設において、障害者就労施設からの物品調達、看板作成等を積極的に行っている。拡充させていきたい。

(2) 資格要件や提出書類等に係る書類審査の結果について、事務局より説明を行った。

(3) 申請団体の経営状況について、公認会計士である選考委員会委員より説明を行った。

(4) 申請団体による提案説明等を踏まえ、選考委員会委員で意見交換を行った。

(主な意見)

- ・両団体とも、実際に指定管理者になってみなければ提案の質の担保は測れないと感じた。老朽化が進んでいる施設でもあるが、その対策をどのように考えているか、両団体とも判断が難しい。
- ・ギオン・アクティオグループは、新しい計画事業を数多く実施する提案で、意欲を感じたが、実現可能性については疑問を感じた。
- ・公益財団法人相模原市まち・みどり公社は、現在の指定管理者で、変化があまり無いように見受けられる。継続性はあり、今後もスムーズに管理運営がなされるであろうという印象である。

※ 選考委員会は申請団体名をブラインド化しており、当日は申請団体A及びBとしていたが、議事概要では申請団体の名称を使用している。

(5) 各選考委員会委員が評価基準に基づき採点を行った。

(6) 各選考委員会委員から提出された評価票を事務局が集計し、各申請団体の合計得点を伝えた。

<選考の概要>

1 選考結果

公益財団法人相模原市まち・みどり公社を指定管理者候補団体とし、ギオン・アクティオ

グループを指定管理者次点候補団体とすることとした。

2 選考理由

- (1) 評価基準に基づく各選考委員会委員の採点の結果、最低基準点を超え、かつ最も高い得点を得たこと。
- (2) 各評価項目において、施設設置目的に照らして適正な施設運営が行われる水準を満たしており、かつ、市民サービスの向上が図られるものと評価したこと。
- (3) 候補団体の経営状況が良好であり、継続的な管理運営が期待できること。

3 評価基準・評価結果

指定管理者候補団体（公益財団法人相模原市まち・みどり公社）及び次点候補団体（ギオン・アクティオグループ）の評価基準に基づく評価結果は、次のとおりである。

評価項目		配点	候補団体	次点候補団体
事業計画書に対する評価				
内訳	指定管理者の適正	20	14	16
	管理運営方針	20	15	15
	地域活性化	40	26	28
	事業計画（自主事業を除く）	60	39	39
	自主事業	20	14	14
	利用者ニーズ	20	13	12
	維持管理計画	40	26	26
	人員配置	20	13	14
	安全管理及び緊急時の対応	20	12	13
	適正な管理・経理	20	13	13
小計		280	185	190
収支計画・経費的効果に対する評価				
内訳	収支計画の妥当性	20	16	12
	指定管理料の削減	20	20	4
	利益の還元	20	20	20
小計		60	56	36
管理能力に対する評価(団体本体に対する評価)				
内訳	団体の経営状況	20	12	16
	団体の管理能力	20	14	15
	労働環境の適正性	20	14	15
小計		60	40	46
合計		400	281	272

※ 合計得点における最低基準点は240点とした。